

学校に元気のいい声が戻ってきました。2学期始業！

猛暑というよりは酷暑といった方が当てはまるような暑い日が続いた夏休みでしたが、終盤には雨の日も多くなり、朝夕の風には少し秋の匂いも感じるようになってきました。

羽合小学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。32日間の夏休み中、おかげさまで大きな事故の報告もなく、無事に新学期を迎えられたことをうれしく思います。子どもたちは、日常の学校生活では味わえない様々な体験をしたことでしょう。お家の人と楽しい時間を過ごしたり、水泳や陸上、スポ少の練習、手伝い、読書や勉強にがんばったりして、1学期終業式で話した、自分の力でやった「人に自慢できること」がたくさんできた夏休みだったと思います。

さて、子どもたちは新たな気持ちで2学期のスタートを切りました。2学期も子どもたちの一人一人が自分なりの目標をもって、それに向かって進んでほしいと思います。実りのある2学期になるよう願っています。2学期の始業式に、1学期の生活や学習の様子を踏まえ、2学期の頑張りどころとして次の3つの話をしました。

1つ目は、あいさつです。

お家の人、地域の方、お世話になっているバスの運転手さん、先生や友達、学校に来られたお客さんに進んで気持ちのよい声で進んであいさつができる子になってほしいです。あいさつを交わすのは社会の約束事だということを覚えていてください。

2つ目は、そうじです。

そうじは「だ・い・じ」が守れていますか。「だ・黙って」「い・一生懸命」「じ・時間いっぱい」そうじができる子になってほしいと思います。

校長先生は、そうじががんばれる人は何でもがんばれる人だと思います。やらなければならないことを当たり前のようにきちんとできる人は、強い心を持っているからです。勉強ができて、運動ができて、そうじを怠ける人を校長先生は好きにはなれません。自分たちの学校に感謝する子ども、みんなのために進んで働く子どもになってほしいと思います。

3つ目は、人の話をしっかり聞くことです。

これは特に学習の時に頑張してほしいことです。人に伝わるように話すこともとても大事ですが、まずは友だちの話や先生の話をしっかり聞ける子になってほしいです。友だちはどんなことを考えたのか、先生は何を言われているのかを考えながら聞いてほしいです。学ぶことの最初は、聞くことから始まります。

奉仕作業ありがとうございました。

8月25日(日)の奉仕作業には、夏休み最後の日曜日の早朝より多くの保護者の方に参加いただき、ありがとうございました。また、保護者だけでなく、ホエホエ隊等のボランティアの皆さんにも協力していただきました。皆様のお力でとてもきれいな環境を作っていた、気持ちよく2学期のスタートが切れました。協力してくださった皆様に感謝です。